

# ！算数科の原理原則！

## 原則 1 = 混合計算の解き方

- 1) ( ) を先にする。      2) × と ÷ がその次。      3) 次に + と -。  
4) 左より順にする。

■ それでは、上の原則に従って、早速、練習問題に挑戦してみましょう。

< 1 > 次の計算をしてみましょう。

$$\begin{array}{lll} \textcircled{1} 5 + 4 - 6 & \textcircled{2} 10 - \cancel{2 \times 4} & \textcircled{3} 2 + \overset{\boxed{2}}{\cancel{4 \div 2}} - \overset{\boxed{2}}{\cancel{1 \times 2}} \\ = 3 & = 2 & = 2 \\ \textcircled{4} 3 \times (9 - 4 \times 2) + 4 - 2 & \textcircled{5} 4 \times 5 + 6 \div 3 \\ = 3 \times \boxed{1} + 4 - 2 & = 20 + 2 \\ = 5 & = 22 \end{array}$$

● できましたか。途中で、斜線 (—) をいれて、計算をしていくと、いいですね。④のように順番に正しく計算を書いていく場合には、= はそろえましょう。

■ では、整数以外に、分数をいれて練習をしてみましょう。

< 2 > 次の計算をしてみましょう。

$$\begin{array}{lll} \textcircled{1} \textcircled{1} 50 - 20 \div \frac{4}{3} & \textcircled{2} 8 \times \left(\frac{1}{4} + \frac{1}{3}\right) & \textcircled{3} 8 \div \left(1 - \frac{1}{3}\right) \\ = 50 - 15 & = 8 \times \frac{7}{12} & = 8 \div \frac{2}{3} \\ = 35 & = \frac{14}{3} & = 12 \end{array}$$

● ここだけでは、練習が少ないでしょうから、問題集とか、授業で使ったドリルなどで、もう一度復習するといいですね。分数の計算では、答えの際に約分することを忘れないように！

